

GBS、ADEMの可能性のある副反応報告*

*重篤副作用マニュアル③GBSの項に基づき、「しびれ、脱力感、神経障害、筋力低下、物が飲み込みにくい」といったタームで報告された症例を選択。

資料1-8

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
49	70代・女性	糖尿病、類天疱瘡、直腸結腸癌手術。ベタメタゾン内服中。	本ワクチン接種より前1ヶ月以内に季節性インフルエンザワクチン接種。本ワクチン接種前、体温35.8℃。本ワクチン接種3日後、急性散在性脳髄膜炎(ADEM)が出現し、入院。左半身のけいれん発作と意識消失が5分間持続。その後、回復するも、同様の発作が出現。一過性脳虚血発作が出現し、転院。CK値224U/L。エダラボン、オザゲレルナトリウムを投与。本ワクチン接種4日及び5日後、5～10秒間の痙攣が出現。ジアゼパムを投与するも、全身痙攣は持続。バルプロ酸ナトリウム、フェニトイン・フェノバルビタールを投与。全身痙攣は持続し、メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム、リドカインを投与。本ワクチン接種13日後、痙攣は消失。左片麻痺あり。ステロイドパルス療法の実施、抗痙攣剤の投与にて痙攣発作の間隔延長。本ワクチン接種14日後、痙攣完全消失。左片麻痺持続。本ワクチン接種16日後、左片麻痺回復傾向。本ワクチン接種17日後、左上肢に軽度の麻痺が残る。本ワクチン接種26日後、左片麻痺は次第に回復。全快し、退院。ADEMは回復。	急性散在性脳脊髄炎	重篤	化血研 SL2B	回復	副反応として否定できない。ADEMの可能性を否定できない。	○中村先生： 時間的経過からは少し早いように思いますが、ADEMは否定できないと思いますが、MRI所見や髄液検査の結果はどうだったのかは確認する必要があります。 ○埜中先生： 時間的経過や神経症状からADEMと考えられる。ただし、ADEMを確定する画像所見がないので、情報不測的ではある。 ○吉野先生： 因果関係否定できずと考えます。
106	10歳未満・男性	無(運動発達が遅延気味であった印象あり。Shuffling babyの疑い)	ワクチン接種8日後、左下肢を痛がる仕草あり、歩こうとしない。疼痛がある様子。ワクチン接種9日後、機嫌悪く、歩こうとも坐ろうともせず、整形外科受診。外見上並びレントゲンにて特に異常なし。ワクチン接種10日後、機嫌よく、坐るようになり、いざり這い状態。ワクチン接種13日後、立て膝可能となるが、左下肢は力が入っていない状態。ワクチン接種15日後、独座可能となる。ワクチン接種17日後、医療機関受診。腱反射(+)。ADEMまたはギランバレー症候群を疑い、紹介入院。ワクチン接種18日後、CRP、CPK、髄液、MRI等に異常認めず、ギランバレー症候群は否定的でADEMを示唆する所見もなく、退院し経過観察となる。ワクチン接種30日後、軽快。	歩行不能	重篤	微研会 HP03A	軽快	因果関係不明	○中村先生： 症状としては、左下肢の痛みがあった様子でそのせいで歩けなかった可能性はあります。経過からは一貫して左足の動きが悪いように考えられます。ただ、その原因は報告からも不明で、投与との関係もわかりません。痛みが原因とすれば、GBSやADEMは考えにくく、また検査結果からも否定的です。症例の年齢が小さく、詳細な情報は不明ですので因果関係不明といたします。 ○埜中先生： 検査所見がすべて正常であるので、ギランバレー症候群も否定的。ADEMの可能性もない。原因がわからず、評価はできない。ただ、時間的關係から、ワクチン接種との関連性はあるかもしれない。 ○吉野先生： 因果関係否定できないと思われます。
107	60代・男性	躁うつ病に対して抗精神病薬にて治療中、高CPK血漿、肝機能障害、膝関節痛、下肢軽度把握症 処方薬は以下の通り。少なくとも半年以上服薬している。 リーマス(200) 3錠 メチコパール(500) 3錠 ラクビー-N 3.0g ガスコン 240mg 以上を分3で服用。 リーマス(200) 1錠 レボトミン 40mg ベンザリン 15mg レンドルミンD(0.25) 1錠 センソサイド(12mg) 2錠 以上を1回、就寝前に服用。 フルニトラゼパム(1mg) 1錠 不眠時に服用 ヨービス液 便秘時に服用。	ワクチン接種前、体温36.0℃。ワクチン接種翌日、全身筋肉痛、脱力が出現。歩行困難にて来院。他院紹介。CPK上昇。ワクチン接種3日後、入院中。	全身筋肉痛、脱力	重篤	微研会 HP05A	回復	因果関係不明	○中村先生： 本剤投与後の事象であり、筋肉痛などの全身症状と思われませんが、CPKの上昇が高値であり、単に全身症状の身としてよいか判断が難しいと思われますので、因果関係不明としました。 ○埜中先生： ワクチン接種後に筋痛、CK 7,360で横紋筋融解症の可能性大。向精神薬を服用しているの、悪性症候群の可能性も残るが。 ○吉野先生： 横紋筋融解症のようです。多剤内服中ですので、これらが関係している可能性がありますが、ワクチンとの因果関係も否定できないと考えます。

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
108	10歳未満・女性	季節性インフルエンザワクチン接種(接種後、変化なし)	ワクチン接種15分後、近くのものが見え、手に物を持っている感覚が数分間持続(実際には持っていない)、全身の振戦発現。悪寒はない。神経学的検査などは実施せず。	神経障害	非重篤	デンカ S2-B	回復	情報不足	○中村先生: 神経症状として、説明しがたい症状で評価不能です。 ○榎中先生: 本人の訴えのみで客観的所見がなく、情報不足。ADEMIは否定できる。 ○吉野先生: 因果関係不明。直後なので迷走神経過緊張かもしれません。
111	30代・女性	無	本ワクチン接種1ヶ月以内前、B型肝炎ワクチン接種。本ワクチン接種直後、前胸部発疹、口腔内しびれが出現。プレドニゾン投与。入院にて経過観察。ワクチン接種翌日、症状軽快にて退院。	蕁麻疹(胸部)、神経障害(口腔内のしびれ感)	重篤	微研会 HP01A	回復	アレルギー反応として否定できない。	○中村先生 蕁麻疹の出現時期と投与との関係からは、しびれ感も含めアレルギー反応として出現したものと考えます。 ○榎中先生 アナフィラキシー様症状に類似したもの。 ○吉野先生: 因果関係不明。ワクチン接種後比較的早期に症状が出現しており、迷走神経過緊張のように思えますが、MRI検査で異常がみられればADEMかもしれません。
112	40代・男性	食物アレルギー(しいたけ)	本ワクチン接種2日前、季節性インフルエンザワクチンを接種。ワクチン接種3日後、しいたけを食す。ワクチン接種4日後、蕁麻疹、四肢しびれ、口周囲しびれ、浮腫が出現。近医救急を受診し、コハク酸メチルプレドニゾンナトリウム、ベタメタゾン、d-マレイン酸クロルフェニラミン投与にて比較的速やかに回復。	けいれん、四肢麻痺	非重篤	微研会 HP01A	回復	情報不足	○中村先生 蕁麻疹等の出現時期としては投与から時間がたっていること、ワクチンの投与によるアレルギー反応としては遅いと思われる。しびれについても、アレルギー症状に伴ったものと考えます。 ○榎中先生 副作用名に「四肢麻痺」「けいれん」とあるが、経過表では「四肢しびれ」だけであり、痙攣についての記載はない。情報不足で評価できない。症状、経過からみて、ADEMやGBSの可能性はきわめて低い。 ○吉野先生: 因果関係不明。ワクチン接種後比較的早期に症状が出現しており、迷走神経過緊張のように思えますが、MRI検査で異常がみられればADEMかもしれません。
113	60代・女性	無	本ワクチン接種約30分後、両下肢のしびれが出現。3時間ほど安静臥床した後、しびれは軽減。	両下肢の筋痛・脱力しびれ	非重篤	化血研 SL06B	軽快	因果関係不明	○中村先生: 投与後すぐの事象で、すぐに改善しておりますのでGBSは否定的です。 ○榎中先生: 時間的経過や神経症状からADEMIは否定できる。神経障害に関しては情報不足である。 ○吉野先生: 因果関係不明。迷走神経過緊張の可能性を考えます。
114	40代・女性	薬・食品で皮膚に発疹、蕁麻疹の出現経験あり。	本ワクチン接種翌日、38.8℃の発熱が出現後、全身倦怠感、脱力症状が発現。その後、手足末梢しびれ、歩行障害が発現。ワクチン接種5日後、脳MRI、胸部X線、神経伝導などの検査にて、神経根障害の所見。ワクチン接種8日後、腰椎穿刺を実施するも、蛋白増加見られず、緊急性なしと診断。ビタミン剤処方。ワクチン接種9日後より解熱。ワクチン接種12日後より、症状軽減。ワクチン接種15日後、回復。	末梢神経障害(多発性ニューロパチー)	非重篤	微研会 HP01A	軽快	因果関係不明	○中村先生: 末梢神経障害については、神経根障害の根拠が正しいかどうか不明です。接種後翌日の発症でもあり、GBSは否定的です。 ○榎中先生: 時間的経過と髄液所見からはGBSは否定できる。しかし、GBS類似の末梢神経障害があったことは否定できない。 ○吉野先生: 時間的には少し早いですが、画像、電気生理で確認されたのであれば、髄液蛋白上昇なくともGBSと考えていいでしょう。因果関係否定できないと考えます。

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
115	10歳未満・女性	無	本ワクチン接種1か月前に1回目のワクチン接種。接種後、蕁麻疹が出現し、受診。本ワクチン接種後夕方より、元気がなく、39℃の発熱が出現。ワクチン接種5日後も体温40℃が継続。インフルエンザウイルス簡易迅速検査では、A型陰性。びくつきは消失。咳、鼻汁が出現。気管支炎の可能性に対して、ロキタマイシン、カルボシステイン、アンプロキシノール塩酸塩、を投与。WBC 5,400 / μ L、CRP 3.8 mg/dL、GOT 40 IU/L、GPT 15 IU/L、LDH 293 IU/L、BUN 9mg/dL。胸部X線では異常なし。解熱せず、通院加療中である。	発熱	非重篤	化血研 SL03A	未回復	全身症状の発熱として否定できない。	○中村先生： 全身症状としての発熱でよいと思います。 ○榎中先生： アナフィラキシー様症状類似の反応。因果関係は否定できない。 ADEMは否定できる。 ○吉野先生： 因果関係否定できないと考えます。
116	60代・女性	喘息、脊髄狭窄症(詳細不明)	本ワクチン接種約30分後、発熱はなし。熱感、ふらつきが出現し、受診。来院時、熱感は消失。浮遊性めまい症状が強く、歩行困難な状態。神経学的内科検査(深部反射消失、起立歩行等)を実施。点滴にてやや症状は軽快するも、消失せず。ワクチン接種2日後及び3日後、受診し、点滴。その後、軽快。	めまい	非重篤	微研会 HP04C	軽快	因果関係不明	○中村先生： めまいの原因が不明のため評価困難です。何らかの検査(CT、MRI、耳鼻科的検査)の結果が必要です。ADEMは否定的です。 ○榎中先生： その他の副作用。因果関係は否定できない。ADEMは否定できる。 ○吉野先生： 因果関係不明
117	60代・女性	無	本ワクチン接種翌日、軽い腰痛が出現。ワクチン接種2、3日後37℃台の発熱が出現。ワクチン接種14日後、下肢痛、違和感、左舌腿前面に紫斑様発疹が出現。同日、採血を実施。	筋肉痛、37℃台の発熱	非重篤	微研会 HP05A	未回復	因果関係不明	○中村先生： 全身症状として考えてよいと思います。 ○榎中先生： 因果関係不明。ADEMは否定できる。 ○吉野先生： 因果関係不明
118	10歳未満・女性	無	ワクチン接種翌日、発熱が出現。ワクチン接種3日後、嘔吐、下痢あり。近医にて加療するも解熱せず。軽度頭痛あり。ワクチン接種19日後、当院に紹介。ワクチン接種21日後、入院。白血球4,040/mm3、CRP1.4mg/dL。発熱以外の症状なく、原因となる疾患特定されないため抗生剤点滴のみにて経過観察。ワクチン接種1ヶ月後、ふらつきが出現。腱反射亢進、急性散在性脳脊髄炎が出現。ワクチン接種5週間後、後頭部痛が出現。髄液細胞数約300個/mm3に上昇、MRI、臨床経過にてADEMと診断。ステロイドパルス開始し、翌日には解熱。ワクチン接種44日後、ADEMは回復。白血球数7,980/mm3、CRP0.3mg/dL以下。ワクチン接種45日後、MRI画像上も改善あり。ワクチン接種47日後、退院予定。入院加療中。	急性散在性脳脊髄炎(ADEM)	重篤	化血研 SL06A	回復	副反応として否定できない。ADEMの可能性を否定できない。	○中村先生： 細胞数の上昇もあり、ステロイドの反応性などからはADEMと診断せざるをえないように考えます。MRI結果はADEMに合致するものであったのか(この時点であれば、画像上異常が出てよいと思います)いかがでしょうか。 ○榎中先生： 臨床経過、画像所見もあり、ADEMと診断できる。因果関係は否定できない。 ○吉野先生： 因果関係否定できないと考えます
119	40代・女性	無	ワクチン接種3時間後、口唇周囲がはれて、しびれが生じ、口唇周囲の感覚がにぶくなった。腫脹箇所は赤く腫れ、熱を持っている。蕁麻疹が生じている。進行防ぐため、サクシゾン注射100mg1バイアル、強カネオミノファーゲンシー静注。その後、口唇ヘルペス生じたため、アストリックドライシロップ処方。接種当日も副作用生じた後も、仕事は全く休まず、続けている。	未記載	非重篤	微研会 HP04D	回復	アナフィラキシー様症状として否定できない。	○中村先生： アナフィラキシー様症状でよいと思います。因果関係は否定できない。 ○榎中先生： アナフィラキシー様症状類似の反応。因果関係は否定できない。 ADEMは否定できる。 ○吉野先生： 因果関係不明
120	10歳未満・男性	脳性麻痺、痙性四肢麻痺、症候性てんかん、低酸素脳症、てんかん、精神遅滞	ワクチン接種翌日、筋緊張の亢進、「アーアー」と発声。ワクチン接種4日後、体温38.7℃の発熱が出現。けいれん様の筋緊張亢進にて入院。2,000IU/L以上の高CK血症に対し、点滴、ダントロレンを投与にて発熱経過、CK値回復せず、入院。ワクチン接種13日後、解熱し、軽快。既往より関節精査したところ、肩関節、股関節の脱臼あり。ワクチン接種約1か月後退院。	発熱、高CK血症	重篤	微研会 HP03A	軽快	因果関係不明	○中村先生： 発熱の原因は本剤によるものかどうか不明です。高CK血症は発熱に伴うものとも考えられます。GBS、ADEMは否定的です。 ○榎中先生： ADEMなどは考えられず、てんかん発作による高CK血症と推定します。 ○吉野先生： 因果関係否定できず。

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
121	80代・男性	肺炎腫、圧迫骨折	ワクチン接種前、体温36.3℃。ワクチン接種3日後、左上肢の麻痺(力がはいらずものがつかめない)が出現。外科を受診し、筋電図測定にて筋力低下と診断。現在リハビリ中。左上肢に力入らず。	橈骨神経運動麻痺	重篤	化血研 SL02A	未回復	因果関係不明	○中村先生: 橈骨神経麻痺であれば、一般的にある上腕外側の圧迫によるものの可能性が高いと思われます。 ○埜中先生: 筋電図の結果がわからず評価できない。症状からはたぶん因果関係はない。 ○吉野先生: 因果関係否定できず
122	10代・女性	ハウスダストにアレルギーあり	ワクチン接種4日後、頭痛、嘔気、微熱を認めるも同日軽快。ワクチン接種6日後、両側手指の動きが鈍く、筋力低下および、感覚異常が認められる。ワクチン接種7日後、症状継続にて、受診。上肢の筋力低下、しびれ感、深部膝反射の低下が認められ、精査目的にて入院。頭部MRIにて異常なし。髄液検査では細胞数は正常ながらも、軽度の蛋白増加。神経伝導速度では、左右差、尺骨神経で二峰化を認めた。ワクチン接種9日後、筋力低下、手指の動きの鈍さはやや改善し、進行性でないことから、ワクチン接種13日後より、外来フォロー。ワクチン接種14日後、下肢のしびれが出現。ワクチン接種15日後、下肢筋力低下。歩行は可能。ワクチン接種16日後、入院。髄液検査では軽度の蛋白上昇。細胞数は1個位。ワクチン接種18日よりγグロブリン療法開始。	ギランバレー症候群	非重篤	化血研 SL05B	未回復	副反応として否定できない。ギランバレー症候群の可能性を否定できない。	○埜中先生: ワクチン接種後6日目から上肢、14日目から下肢の筋力低下が来ている。髄液タンパクの値がないが、GBSの可能性は否定できない。 ○吉野先生: 因果関係否定できず。上肢筋力低下が改善してから下肢筋力低下が出現するというのは、珍しい経過です。
123	50代・女性	リウマチで治療中。薬疹アレルギー(ブシラミン、サロチン、サロチン)	ワクチン接種20日後、左顔面麻痺が出現。脳神経外科にてMRI検査するも異常なし。ペル麻痺と診断しプレドニゾン投与。	左顔面神経麻痺	非重篤	化血研 SL07A	未回復	因果関係不明	○中村先生: 顔面神経麻痺であれば、偶発的なものと思われます。 ○埜中先生: MRIで異常なく、顔面神経麻痺のみ。ADEMは否定的で、ワクチンとの因果関係はない。 ○吉野先生: 因果関係否定できず。膠原病を合併している患者さんは単神経麻痺を生じることがしばしばあるので、関節リウマチとの関係がもしあれば
124	30代・女性	喘息	仕事中に一時的に意識消失し、立ち上がるもふらつきあり。医療機関に受診。体温36.8℃、全身倦怠、食欲不振、咳、咽頭痛あり。ワクチン接種30分後、全身倦怠が出現。同日夜、咽頭痛、咳が出現し、眠れず。発疹、目の充血はなし。ワクチン接種翌日、倦怠感消失せず。咽頭発赤なし。顎下頸部リンパ腫脹なし、胸部異常なし。心拍数66/m、血圧144/76mmHg、意識清明、呼吸正常、腹部平坦柔らかい、発疹なし。目や充血あり。ワクチン接種による副作用と考え、採血、メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウムなど投与。神経伝達検査、髄液検査はしていない。	強度の脱力感	非重篤	化血研 SL07A	回復	因果関係不明	○中村先生: この情報では、症状の時間的経過が不明です。ワクチン後の全身倦怠感、全身症状と考えます。 ○埜中先生: ワクチン接種前から同様の症状があり、因果関係は認められない。 ○吉野先生: 因果関係不明。ワクチン接種前から始まっていた感冒症状が続いた症状のように思えます。
125	70代・男性	糖尿病に対しインスリン治療中(血糖変動激しく、しばしば低血糖発作あり)。腎症、末梢神経障害の合併症	ワクチン接種12日後、両手の感覚障害が出現。ワクチン接種14日後、四肢の脱力が出現。起立に介助を必要とし、歩行不能。ワクチン接種16日後、神経内科受診。意識鮮明、血圧199/106mmHg、心拍数101/分、酸素飽和度100%、体温36.5℃、眼球運動障害、複視、瞳孔不同あり、対光反射あり。その他脳神経麻痺なし、四肢筋力は4程度、握力14.3kgw/15.5kgw、四肢・軀幹失調あり。神経伝達検査にて、脛骨神経、腓骨神経の運動神経伝導速度が低下。F波出現率10~15%、潜時延長。正中神経の運動神経伝導速度は軽度の低下。F波出現率25%、潜時延長。上下肢共、知覚神経伝導速度は誘発されず。フィッシャー症候群、ギランバレー症候群と診断。免疫グロブリン療法を開始。ワクチン接種21日後、症状は進行性で筋力2~3/5の状態。呼吸機能は現在のところ保持されている。	ギランバレー症候群(フィッシャー症候群)	重篤	微研会 HP06D	未回復	副反応として否定できない。ギランバレー症候群を否定できない。	○中村先生: 髄液検査で蛋白の上昇がないのは典型的ではありませんが、臨床経過、末梢神経伝導検査からはFS/GBSを否定できません。 ○埜中先生: 発症時期、症状、検査所見からギランバレー症候群(一部中枢神経症状あり、フィッシャー症候群も加味している)と診断できる。 ○吉野先生: ワクチン接種後のGBS/Fisher症候群で、因果関係否定できないと考えます。

No.	年齢・性別	既往歴	経過	副反応名	重篤/非重篤	ロット	転帰	ワクチンと副反応との因果関係	専門家の意見
126	30代・男性	気管性喘息に対しステロイド吸入療法中で、安定。	ワクチン接種後、特段変化なし。ワクチン接種翌日は倦怠感のため、臥床。発熱、注射部位の変化なし。その後、全身倦怠、両腕・手のしびれ、ふるえ等が出現。呼吸器内科、神経内科などを受診。ワクチン接種3-4日後、過呼吸が出現。呼吸機能検査では1秒率の低下あり。頭部CT検査などでは、異常なし。ワクチン接種17日後、心拍数120/分の頻脈が出現。医療機関を受診。ギランバレー症候群、ADEMIは否定的。ワクチン接種2か月後も、体調不良のため休業中。検査では、1秒率の低下、IgE上昇が見られている。	全身倦怠、両腕・手のしびれ、過呼吸、頻脈など	非重篤	化血研 SL02A	未回復	因果関係不明	○中村先生： 症状としては、心気的なものが多く投与との関連性はないように思います。 ○埜中先生： 検査結果などで、明らかな疾患は同定できておらず、主観的所見のみ。ADEMでもギランバレー症候群でもなく、因果関係は認められない。 ○吉野先生： 因果関係否定できず。
127	30代・女性	無	ワクチン接種5分以内に動悸、手足冷感、しびれが出現し、顔面蒼白となる。血圧は正常。ワクチン接種約1時間後、無処置、横臥のみで回復	動悸、手足冷感、しびれ	非重篤	デンカ生研 SI-A	回復	因果関係不明	○埜中先生： アナフィラキシー様症状類似的副作用。因果関係は否定できない。 ADEM、GBSは否定できる。 ○吉野先生： 迷走神経過緊張と考えます。
128	80代・女性	無	ワクチン接種25分後、歩行時、左膝が痛くなり、脱力感が出現。ワクチン接種翌日、回復	関節症状	非重篤	化血研 SL05B	回復	因果関係不明	○埜中先生： 情報不足ではあるが、時間的關係から完全には因果関係は否定できない。しかし可能性はほとんどない。ADEM、GBSは否定できる。 ○吉野先生： 高齢者ですので、膝関節炎だった可能性が高いと思います。
129	70代・女性	無	ワクチン接種翌朝、起床時に腰に力が入らず、立位困難となる。同日夕方、動けるようになる。	立位困難(一時的)	非重篤	北研 NB003D	回復	因果関係不明	○埜中先生： 検査所見もなく、これだけの情報では因果関係は不明。 ○吉野先生： 高齢者ですので、腰椎疾患だった可能性が高いと思いますが、過去にも同様の症状あったか、XPなどの所見が因果関係の判断の参考になると思います。
130	20代・女性	肉、チーズに対して食物アレルギー。薬物アレルギーはなし。	ワクチン接種後、接種した左腕に冷感、しびれが出現。体温37.3℃。ワクチン接種1時間後、症状は緩和。ワクチン接種翌日症状は軽快。	左腕のしびれ、冷感	非重篤	化血研 SL06A	軽快	局所反応として否定できない	○埜中先生： 局所反応として因果関係あり。ADEM、GBSは時間的、症状から否定できる。 ○吉野先生： 因果関係否定できず。
131	80代・女性	無	ワクチン接種後、約10分でしびれが出現。気分不良も見られた。血圧180/mmHg。約2時間安静後、ほとんど治まった。	口唇のしびれ	非重篤	北里 NB002A	軽快	調査中	